

事務事業名		道の駅「湧水の郷しおや」次世代自動車充電インフラ整備事業			<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	産業活性化に向けたまちづくり			所属課	産業振興課	担当	林務商工観光担当
	施策名	地域特性をいかした観光の推進			課長名	手塚 義久	担当者名	手塚 正裕
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)						
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 概要 現在、次世代自動車充電インフラ(急速充電器)の整備が各地でおこなわれており、経済産業省は、今年3月に新たな戦略として「今後は、電欠の懸念を払拭するため、空白地域を埋めるとともに、安心感を高めるために、道の駅や高速道路のSA等の分かりやすい場所に計画的に設置する『最適配置』の考え方を徹底。」するとの報告書を発表しています。 急速充電器については、県内の道の駅23駅中17駅に設置済みであります。塩谷町においては、船生地区のコンビニに1台のみの設置という状況であります。(国道461号線(矢板-鬼怒川間)には、2ヶ所のみ設置) 急速充電器を整備することで、今後のEVユーザーの利便性向上と目的地充電を図り、道の駅としての役割や集客アップを目指すものである。</p> <p>2 事業内容 道の駅敷地を提供し、業者が設置・運営をおこなう。(町の工事請負費などの初期導入費用ゼロ。補助金申請事務のなし) 道の駅敷地については、県との協議が必要となる。 運用コストについては、電力基本料金のみを負担となるが、利用回数が多ければ還元される。</p> <p>3 概要事業費 光熱費 年間 80,000円/MAX(¥6,500×12ヶ月)</p>						

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 次世代自動車充電インフラ(急速充電器 20kw)を設置		名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 道の駅施設利用者 町民		ア:急速充電器	台
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 道の駅の施設利用者へのサービス向上及び集客アップ 町民(次世代自動車利用者)の町外流出阻止		イ:道の駅全体の施設利用者(年間)	人
		イ:全住民	人
		ウ:急速充電器利用(1日平均)	回
		ウ:急速充電器利用(1日平均)	回

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 台	1	1	1	1	1	
		実績値 台						
対象指標	イ	目標値 人	395,000	400,000	405,000	410,000	410,000	
		実績値 人						
成果指標	イ	目標値 人	12,000	11,800	11,500	11,200	10,837	
		実績値 人						
	ア	目標値 回	1	1	2	2	3	
		実績値 回						
	イ	目標値 回	0.5	0.5	1	1	2	
		実績値 回						

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度	
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	40	80	80	80	80
	事業費計(A)	千円	40	80	80	80	80	0
人件費	正規職員従事人数	人						
	延べ業務時間	時間						
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	40	80	80	80	80	0

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
事業費 投入量	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	道の駅利用者や町民の利便性を確保するものであり道の駅の管理者である町が整備することが当然である。町としても、防災機能強化やCO2排出抑制のアピールとなる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	国の補助金が今年度までの計画であるため。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	初期投資及びランニング費用とも、最も低コストとなる計画を採用している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	施設充実の為に実施されるものであり、また、使用料は使用者が負担する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 5 月 31 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・土木事務所との協議の際には、建設水道課と調整のうえ行うこと

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業